

Title	表紙 ; Contents
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2007
Jtitle	Newsletter Vol.1, (2007. 9)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002003-00000001--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

Newsletter

2007 September No. 1



Centre for Advanced Research on Logic and Sensibility

心に関する世界水準の教育研究拠点の開設によせて

慶應義塾長 安西祐一郎



このたび「論理と感性の先端的教育研究拠点形成」が2007年度グローバルCOEプログラムの人文科学分野に採択され、新たに教育研究拠点が開設されるにあたり、渡辺茂リーダーをはじめとする事業推進担当者、事務局の方々、当プログラムに関わるすべての関係者の皆様に心からお祝いを申し上げます。

21世紀COEプログラムからグローバルCOEプログラムへの重要な変化のひとつは、「研究教育拠点」から「教育研究拠点」への名称の転換です。つまり、当拠点は、激動する世界の中で、輝かしい未来社会を創造していく次世代のリーダーを育むための場となることを意味するのです。いま、私たちには、知的価値の創造を通し、グローバルな視点から日本と国際社会を発展へと導く未来への先導者を育成することが何より求められています。この拠点形成には、そのような感動教育の実践にむけた私たちの願いがこめられているのです。

人間における「論理と感性」という判断の二重性は古くから人間理解にあたっての根源的な問題であり、これを解明するために、これまでさまざまな分野の知見が集められてきました。当拠点では、この人間の本質に関わるテーマを探求するにあたり、ヒト脳の活動が眼前に可視化できるfMRIを使用するなど、最先端の技術を活用して認知科学の新たな領域を切り開いて行きます。

また、海外の国際拠点との連携も強化され、多くの人的交流と情報共有が図られます。このように既存の学問領域にとらわれない分野融合的で国際的な研究手法が、「論理と感性」の二重性の解明へ向けて、きわめて大きな役割を果たすことと思われます。

当拠点はアジアにおける初の心に関する世界的水準の教育研究拠点です。国際的で幅広い視点を持った多数の若手研究者が育成されることを心から期待いたします。

「論理と感性」のメカニズムの解明に、時代を先取りして総合的な視点から挑戦する当教育研究拠点は慶應義塾の誇りです。人類の未来の発展に大きく貢献する当拠点へ、今後ともご指導、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

Contents

心に関する世界水準の教育研究拠点の開設によせて 安西祐一郎	1
拠点ブランド・デザインの紹介	2
教育研究プログラムの紹介	4
拠点運用委員会の紹介	6
活動報告	7
特別研究教員紹介	8